

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( ~~認知症対応型共同生活介護事業所~~ ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム なつれ	評価実施年月日	平成20年2月27日
評価実施構成員氏名	橋本 昌美 ・ 田口 千明 ・ 太田 洋子 ・ 板垣 昌代 ・ 高橋 郁子 ・ 松岡 真美		
記録者氏名	橋本 昌美	記録年月日	平成20年2月10日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>利用者の尊厳を守る為、地域社会との関わりを、かかさない。</p>	○	<p>地域密着に重点をおいた理念への見直し</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>朝のミーティング時、カンファ時に理念の共有をはかり、日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>家族会、地域交流会、推進会議にて協力、理解いただいている。</p>		
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>地域交流会の声かけ。地域へのボランティアの声かけ。ホーム行事への声かけ。推進会議の声かけ。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会の総会への参加。</p>	○	<p>利用者の町内行事も進めているが、益々進めていきたい。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域交流会を常におこない、気軽に来所出来るように声かけし、地域の高齢者や、その家族の相談を受けやすいようにしている。</p>	○	<p>今後、事業者と話しあい地域貢献への取り組みを考えていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価の意義を理解し、勉強会をおこない、スタッフ間で意見を出しあい、改善の努力をおこなっている。</p>	○	常に自己評価し、改善、向上に取り組んでいく。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>推進会議内容、意見、要望についてスタッフ間で情報を共有し、話し合いをし、サービス向上の努力を行っている。</p>	○	意見、要望に耳を傾けスタッフ間で意見を出しあいサービス向上に努力。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>行き来はしていないが、電話相談している。</p>	○	今後も、サービスの向上をはかる為に相談し意見をいただく。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>対象者がいない為に行っていない。</p>	○	資料を揃えて勉強会を行ないます。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会、外部研修会を利用し学び虐待防止に努めている。</p>	○	常に自己評価し、改善、向上に取り組んでいく。
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>常に迅速に連絡し、話し合い、理解、納得をいただいている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	朝のミーティング時に利用者に声かけて何か一言の時間をもっている、外部へは推進会議を場としてもうけている。		常日頃、利用者の様子を見て声かけし、意見、要望を尋ねている。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	通信書を月に一度送付。家族来所時は必ず話合いの場をもうけている。		事あるごとに必ず連絡報告している。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会、推進会議を行ない、地域の方々の参加をいただき意見交流を行ない、運営の反映につなげている。	○	他施設との合同意見交換会なども取組んでいきたい。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、スタッフの意見、要望、提案に常に耳を傾け運営者に報告し、改善にむけての回答をもらい反映につなげている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	スタッフ間の協力により勤務調整をおこなっている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	スタッフ異動は、無し。		離職については、すぐに人員の募集、配置を心がけている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修期間を取り、人員を増やし研修を受ける環境を整えている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	交流会参加を勧めている。	○ 現時点では管理者のみの参加なのでスタッフも参加出来る体制をつくる。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	福利厚生の充実、スタッフの要望による福利厚生の見直し	
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	外部研修への積極的参加を勧めている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	スタッフ一人一人が、利用者の様子を見て、話しかけ、話を聞いて得た情報を共有し、傾聴し、受け止める努力をおこなっている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	家族とは管理者が主体となり対応している。スタッフが得た情報は、必ず管理者へ報告し、管理者からスタッフ全員に伝達し、家族の気持ちを受け止める体制になっている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	スタッフ一同情報を共有し、観察をし、管理者に報告。相談時に備え対応に努めている。		常に利用者、家族とは話をするように心がけている。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者とスタッフ間の交流をはかり、ゆっくり馴染んでいただいている。		家族とも、密に連絡を取り、一緒に雰囲気づくりを行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	常に話しかけ、時に相談し、学びあう関係作りを行ない、築いている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の日々の生活、状態を常に報告し、一緒に介護していくことをお願いし、行っている。		月に一回はレクを行ない、食事・オヤツ会に家族を誘い、一緒に食事を取り、楽しんでいる。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	利用者の家族への想い、家族の利用者の想い、想いやり、感謝の気持ちを伝達し、よい関係が築けるようしている。		築いていけるよう支援している。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族、知人、友人の面会を進めている。		利用者の希望で友人宅や見舞いも行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	スタッフが、潤滑油の役割や、中和剤になり一つ的话题を利用者全員で楽しんでいる。共通の話題で利用者同士がお互いに共感しあえるような環境作りを行っている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	施設異動に対しては、家族の許可をいただいていたの面会。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	話しを、よく聞き、利用者の希望、意向を把握する努力をしている。困難な場合は、家族に相談して本人本位に検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴は家族からの情報と、利用者の話を聞いて把握している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の個人記録と、スタッフ間の情報伝達により把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	利用者一人一人に担当者がつきケアマネージャーの監理のもとで管理者と共に介護計画の見直しをかけ、利用者本位の介護計画を作成している。	○	介護計画の書式や、作成方法について検討する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ケアプランとの照らし合わせも勿論、状態が変わり、サービスが変わったら、すぐさま必要な関係者との話し合い・計画作成をしている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	情報の共有により、スタッフ一同、実践や介護計画の見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	一日一日要望状況により、臨機応変な対応がとれる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域への交流、挨拶は定期的に行っており、協力をいただいている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	今のところ、利用者、家族希望はない。地域の行事参加で満足されている。	○	利用者・家族が希望されて場合、直ちに取組む。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	今のところ、利用者、家族希望はない。		地域包括には、いろいろ相談して参考意見をいただいている。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診往診の結果などは家族に報告。家族、利用者の希望にそうように支援している。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>症状が少しでも変化した時点で受診し、医者の指示を得ている。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>週に一度の看護師の来所による健康チェック、電話による相談も行っている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院した場合、介護添付書類を送り、情報伝達を行う。また、定期的に家族と病院に連絡をとり早期退院に備えて連携している。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>家族、利用者の希望をもとに関係者全員で話し合い、方針を共有している。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>利用者の状態を観察して、家族と医者に報告している、状態変化があった場合は、医者より今後の変化の想定をしてもらい、それに備えた検討や準備を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	個人のすべての情報を住み替え先に送り、その後も住み替え先との連携を取っている。		住み替え先に訪問をしている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	朝のミーティング時、情報交換、日々の反省会を行っている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	常に声かけし、様子をうかがい、答えは本人に決めていただき納得をしていただいている。		毎日のあさのミーティング時、声をかけて一言もらっている。体操の時間を意見交換の場になっている。
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	何を希望しているか、声かけし、発言してもらい、本人の希望に添うよう支援している。		毎日のあさのミーティングに情報交換を行ない、一人一人のペースを大切にする。支援が出来るか、工夫している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	いきつけの店がない状態での入所なので、当ホームに来所する慣れ親しんだ理容師に本人の希望をのべてもらい、カットしている。又、メイクボランティアが毎月来所して女性としての楽しみを支援している。		今後、受け入れした利用者に行きつけがあった場合、対応できるようにしたい。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人一人の力に合わせて、自立支援させていただいている。メニューも利用者に相談しながら決めている。		一人一人の力を引き出す声かけにより、自ら行動し、満足していただいている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	自由である。火の管理はスタッフで気をつけている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	定時に排泄の声かけ、習慣を活かしての排泄、利用者の様子を見ての排泄介助を行っている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者希望により決まった曜日になってはいるが、希望が出た場合は対応している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	不眠時は、落ち着く声かけや、温かい飲み物をすすめたり、夜勤者と眠くなるまで一緒に過ごしていただく。常に入眠前は、おやすみなさいと言かけようしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者その人、その人の力で出来る事、出来そうな事を提案し、行ってもらい自信を取り戻し、役割を持っていただいている。常に、ねぎらい行っている事での喜びを感じていただいている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	おこずかいを自己管理していただいている。買い物代行や同行も行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近くのコンビニ・図書館・スーパー希望があれば添う努力はおこなっている。	○	利用者の代わりに買物を行っている。長い時間の外出希望に添うよう当日は人員を多くシフトを組んでいきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族による自由な外出は行っている。しかし介護度が上がってきているので、車の乗り降りはこちらで介助させていただいている。		介護度が上がっている利用者や家族がいない利用者に好きなところへ長時間外出出来るように、当日は、人員を多くシフトを組んでいきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に行っている、又、連絡することをすすめている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間・面会場所も設定していない。すべて自由な状態、食事、お茶の時間は一緒にいただいております。		スタッフは気がねしない空気をつくるよう努力している。挨拶・見送りは必ず行っている。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会を行って理解している。	○	定期的に勉強会を行って行きたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	勉強会を行って理解している。鍵をかけない実践を行っている。	○	定期的に勉強会を行って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	安全見守りは、欠かしていない。一人一人の、行動範囲を把握して見守りしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人一人の、残された機能や理解力を考慮しながら安全にとり扱っていただけるように見守りしている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人一人の状態を把握し、あらゆる危険を想定しながら見守りを行っている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	朝のミーティングや、勉強会でも急変や事故発生時の対応について話し合っている。	○	年に一回、救命救急の講習を受けに行っている。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	町内会長に災害時の協力について相談している。利用者を、含めた避難訓練を定期的に行っている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	常に家族とは話し合いを持っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	常にスタッフ同士の情報交換を行っている。スタッフ→ホーム長→ナース・ドクター・ケアマネージャーとの連帯をとっており、速やかに対応出来ている。		常にカンファ、朝のミーティングで利用者についての情報交換をしていき、スタッフ間の情報を共有している。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	カンファ・ミーティングにより利用者の疾患を把握している。新しく出ている薬については出た時点でミーティングで申し送りするため、記録には詳しく服薬後の様子を書くようにしている。		今まで飲んでいた薬について大体は理解しているが、忘れたこともあるようなので何度も古い薬についてもミーティングの中で送る。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。	排便チェック・下剤管理・水分チェック・朝の体操・ゲーム性があり楽しんで参加できる運動		様子はスタッフ間で情報を共有し、ナース・ドクターに報告し、相談しよい対応が出来るように努めている。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人一人の力に応じて対応、歯科医との協力により、よりよい対応が出来るように指導してもらっている。	○	口腔ケアを気分により拒否もある。又、自立しているのに、口腔ケアだけ、足りない方もいる。いかに気力を害さずに口腔ケアを習慣づけていただくか工夫して行きたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	常に朝・昼・夕・オヤツ食べている様子を一人一人観察してスタッフ間情報を送っている。月一回の体重測定・血液検査・水分チェックにより良い状態を把握し、工夫している。		血液検査によりドクター指示をいただき支援している。又、不定期ですが、栄養士の栄養チェックをしてもらっている。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	インフルエンザは全員予防接種。流行する時期に向け、勉強会を行っている。	○	きちんと文章にしてマニュアル化をし、徹底化する。スタッフ同士の話し合い。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まないた、布巾、冷蔵庫内の消毒。新鮮な食材を使用。スタッフの手指の衛生管理にも注意をはらっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	看板を掲げ、春、夏、秋には花鉢を置いている。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花や、張物を貼っている。利用者の好みを取り入れた飾りつけをしている。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールに気軽に集まり好きな場所に座り寛いで過ごしている。毎日季節にあった飲み物を、おだししています。	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	全て利用者の好みに配置されています。	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気扇は、常に回しています。室温計を置き、気温差に気をつけながらの換気を行っています。室温23度～25度としています。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人一人の機能に応じた居室。コール設置。共有の場所には手摺り設置。	状況に応じ、居室内手摺り。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>壁に貼り物をして、物事をわかりやすくしている。様子観察は、常にし、声かけを行ない、混乱や失敗を防いでいる。</p>		<p>時間がかかろうと本人の出来ることは声かけ、見守りで行ってもらう。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前の植木鉢。庭には果物の木、野菜、花を植えている。</p>		<p>庭に出れる時期になると庭にあるものに興味をもていただくように声かけ、相談、そして散歩コースにも取り入れている。</p>



V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① <del>ほぼ全ての利用者</del></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんど掴んでいない</p>	ケアプラン、介護計画、個人記録に気がついた事を迅速に記入し、その人らしい暮らしを支援する努力をしています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① 毎日ある</p> <p>② 数日に1回程度ある</p> <p>③ たまにある</p> <p>④ ほとんどない</p>	スタッフと笑顔で、過ごせる関係を築いています。皆さん、スタッフのいるホールで過ごすのが好きです。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者</p> <p>② <del>利用者の2/3くらい</del></p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	一人一人の意思、意見を大切にします。言葉を発せない利用者に対しては、表情と態度にて支援しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>① ほぼ全ての利用者</p> <p>② <del>利用者の2/3くらい</del></p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	気を許してリラックスし、スタッフの行う事に期待して下さっています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者</p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ <del>利用者の1/3くらい</del></p> <p>④ ほとんどいない</p>	希望者のみ外出しています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① <del>ほぼ全ての利用者</del></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	主治医の1ヶ月に2回の往診、一人一人ゆっくりとお話を聞いてくださいます。24時間の医療体制もあり安心を感じて下さっています。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>① <del>ほぼ全ての利用者</del></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	利用者の意見、要望を発言する場をつくり少しでも満足と安心を得てもらえるように努力した事によってホーム内が穏やかになりました。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① <del>ほぼ全ての家族</del></p> <p>② 家族の2/3くらい</p> <p>③ 家族の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどできていない</p>	常に連絡を取り、報告、確認、意見、要望にそうよう、努力し、理解を得ています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように</p> <p>② 数日に1回程度</p> <p>③ たまに</p> <p>④ ほとんどない</p>	ボランティアの受け入れは月に1回必ず行っている。利用者が外部の人を見て不穏になり、暴力・暴言となる状態なので、解決するまで大きな活動は控えている。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている</p> <p>②少しずつ増えている</p> <p>③あまり増えていない</p> <p>④全くいない</p>	地域の方に理解を頂いて協力体制をいただいている。ただし、利用者の様子を見ての活動となるため、頻繁な人の出入りや、大きな活動は控えている。
98	職員は、生き生きと働けている	<p>①ほぼ全ての職員が</p> <p>②職員の2/3くらいが</p> <p>③職員の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	一人一人、自分の役割をもって、責任ある行動、自発的な行動は少ないものの声かけにより目標を持って行える。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が</p> <p>②利用者の2/3くらいが</p> <p>③利用者の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	サービスについては満足をしているが、だれしも自分にかかりつけになってもらいたいという願望があり、満足というわけには行かない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が</p> <p>②家族等の2/3くらいが</p> <p>③家族等の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	家族は満足し、スタッフをねぎらって下さいます。しかし、利用者の介護度が上がって来ているホーム内の様子を見ていれ、スタッフをもっと補充してほしいと不満を持っています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

外部からのボランティアを多く取り込み、利用者に社会に多くふれあう機会をもうけている。日々、工夫し、自ら出来る事の発見、出来た事の喜び、自信、意欲につなげるケアを行っている何かを行うにも楽しく、ゲーム性をもって、やる気につなげている。